

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金(令和3年度補正予算)実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 羽咋市 (都道府県: 石川県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.6 その他、各地域において、結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に向けた、当事者及びその他の社会のあらゆる構成員の意識や行動の改革をもたらそうとする取組		
個別事業名	子育てアプリ事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 令和2 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,386,000		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>「がんばる羽咋創生総合戦略」(平成27年3月、計画期間 平成27年度～平成31年度)において、結婚・出産・子育てへの総合的支援を基本目標として掲げ、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」といったライフステージごとの施策の柱を構成している。</p> <p>同総合戦略 基本目標Ⅲ 若者の生活、子育てを切れ目なく支援</p> <p>①若者の婚活支援を強化</p> <p>②妊娠・出産・子育てまでの総合的支援の充実</p> <p>本事業については、上記の①の施策の柱に位置付けられる。</p> <p>(地域の実情と課題について)</p> <p>若い世代が結婚に対する意識を高めるための講座の開催をはじめ不妊治療費助成制度や子育て応援券などの経済的支援、保育事業や子育て支援サービスの充実などを中心に事業を進めているところである。</p> <p>しかし、晩婚化・晩産化が進む中、年々婚姻数と出生数が減少している状況であり、子どもの数を増やすためには、定住対策と同時に若い世代の早期結婚・多子出産に向けた意識づくりが必要となっている。</p> <p>男女独身者(25～45歳)に婚活や結婚についての意識調査で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結婚相手に対してこだわる条件」は、男女とも性格が1番 ・「結婚と恋愛で求める条件は違う」と思っている男女は50%以上 ・「恋人が欲しいと思う季節」は男女とも半数近くが「冬」に強く思う。 <p>という結果から、独身者のニーズにより的確に対応するため、今後の事業に反映していきたいと考えているところである。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題></p> <p>【現状】</p> <p>令和2年度より、子育てアプリを導入した。地域の子育て支援情報を子育て世代(6歳まで)全員に発信できるよう、市独自のアプリを登録してもらい、本市の子育て情報が広く伝わるようになった。</p> <p>【課題】</p> <p>ただし、新しい生活様式を受け、各種子育て関連事業を予約制としているが、夫婦共働きの子育て世代も多く、役所の開庁時間に電話・来庁での予約が負担となり、予約を忘れてしまう、見送るといったケースも見受けられる。</p> <p><課題への対応></p> <p>そこで、オンライン予約の機能も併せて提供することで、子育て支援事業の情報や予約受付状況の『見える化』を図り、開庁時間や休日などの曜日に関係なく、住民個々のタイミングで、予約を受け付ける事で、各種事業への簡便な予約・利用を促し、参加しやすい体制を構築する事で、子育てへの『温かい社会づくり』を実現する。</p> <p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン予約機能 <p>市側では、各種相談や教室等の事業について、管理画面上で実施日時や予約受付人数等を設定して予約枠を作成できる。また、妊娠週数や子の月齢・性別等の属性情報を用いることで、事業の対象となる利用者に絞り込んで予約枠を通知をすることが可能である。</p> <p>住民には、自身が対象となる事業の予約枠のみが表示され、多岐にわたる事業の中から簡単に自身に必要な事業のみが把握でき、予約の受付状況も確認しながら、希望日時の予約枠を選択ができ、簡単に予約をおこなうことができる。</p> <p>予約については24時間365日自動で受付されるため、自治体側は予約受付業務の負担が軽減され、住民側は各々の都合に合った時間帯に自由に予約をおこなえるメリットがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約の管理機能 <p>市側では、予約受付が完了した参加者の情報について管理画面上で閲覧できるため、受付後の台帳管理等が不要になる。また、参加者に対してメールによる通知が可能であるため、事業の中止や延期の際には容易に追加の連絡をおこなうことができる。 ※通知対象については、内容に合わせて全体・個別を選択可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政業務の効率化・高度化 <p>住民からの予約申請が常に自動で受付されるため、電話や窓口による予約と比べて業務の負担を大幅に削減することが可能である。</p> <p>また、予約枠を設定する際には、必要に応じて任意の項目(参加者の氏名など個人情報、確認事項や相談内容といった事前アンケート等)を設定可能で、事前に参加者の情報を収集できる。それによって、参加者の属性や要望等を加味した上で準備が可能であり、相談ではしかるべき担当者が要望に合わせ段取り準備ができる事など、各種事業の内容をより高度なものにすることができる。</p>		

・既存サービスとの連携
本市では、R3年2月より、母子手帳アプリを導入している。
上記サービスの情報発信だけでなく予約を行える体制をとる事で、利用者増加につながる。

【次年度以降に向けた事業の方向性】
更なるオンラインでの機能を拡大、充実させていく
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】
なし

【事業実施にあたっての留意点】
本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	出会いの場からのカップル成立件数	件	20 (令和6年度)	4 (令和2年度)
	年間婚姻数	件	60 (令和6年度)	63 (令和2年度)
	合計特殊出生率	%	1.6 (令和2年度)	1.44 (令和2年度)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.44 (令和2年度)	
	婚姻件数	件	63 (令和2年度)	
	婚姻率	%	3 (令和2年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	アプリの登録者数	人	600	591 (R4.1.24現在)
	アプリ利用者のうち、友人に薦めたいと思った者の割合	%	86	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	県のホームページの掲載や子育て支援イベントでのチラシ配架等、広報について連携する。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者に対して(子育て世代が集まる商業施設等)、事業実施日等を記載したチラシ配架を依頼する。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			